

声に溶けた動物たちが、あなたを言葉の森へ誘います。
さあ、夢見心地でさまよって。

朗読作品

ドイツ語 : 小さな寓話 (フランツ・カフカ) ほか

中国語 : チベット犬 (楊志軍 (楊志軍))

英語 : ポッサムおじさんの猫とつきあう法
(T. S. エリオット)

フランス語 : 狼と子羊 (ラ・フォンテーヌ) ほか

スペイン語 : プラテーロと私 (J. R. ヒメーネス)

日本語 : よだかの星 (宮沢賢治)



ココに注目!

です! →



●心に響く朗読!

文字でつづられた作品の魂を「声」に吹き込むため、学生たちは特訓しました(教員のもとでの発音矯正、アナウンサーの神谷宥希子さんを招いての朗読講演会でのワークショップなどなど…)。洗練された朗読を、きくとあなたにお届けします。

●趣向を凝らした演出が朗読を盛り上げます!

ピアノの美しい音色が聞こえてきたり、躍動的なダンスに目を奪われたり、ときにはアッと驚く瞬間があったり……。例えばそんな素敵なことが、あなたに起こるかも。

●6つの言語に酔いしれて!

名高い世界の文学を、その国の言葉で味わいましょう。あなたは、あの日・あの国の情景を懐かしく思い出したりするでしょう。あるいは、今まで触れたことのない国の言葉に心打たれるかもしれません。

<この朗読会の原点>

昨年度、同じ季節に開催された「詩と音楽の出会いー関治子と静大生によるピアノと朗読の夕べ」の成功を受け、教員と学生が一体となって一つの舞台を創り上げ、市民の方々にも楽しんでいただける朗読会を本年度も開催したいとの構想が生まれました。

なお「考える森」とは、自然と文化が調和し、一人一人を育む静岡大学大谷キャンパスを指し、人文社会科学部の今野喜和人学部長が名付けたものです。

(「考える森」へのご招待 <http://www.hss.shizuoka.ac.jp/about/message/>)



★Facebookページに「いいね!」して、最新情報や裏話をチェック★
www.facebook.com/shizudai.rodokukai